

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

島根県隠岐広域連合（事業会計分） 隠岐病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	-	ド透訓	救感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,096	第1種該当	-	10：1

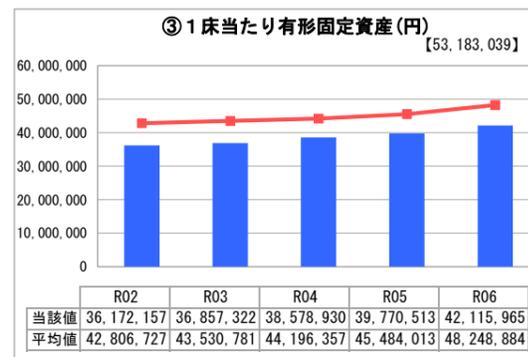
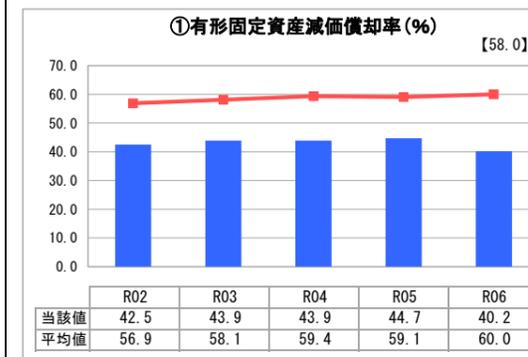
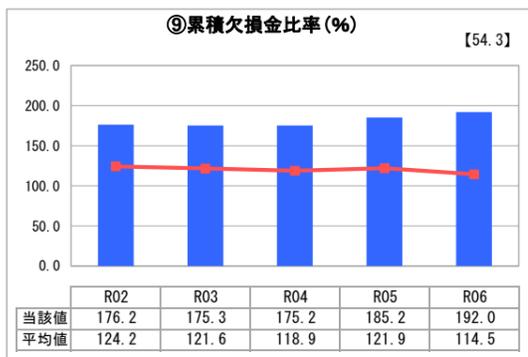
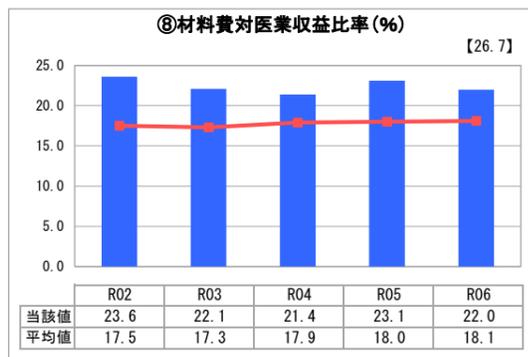
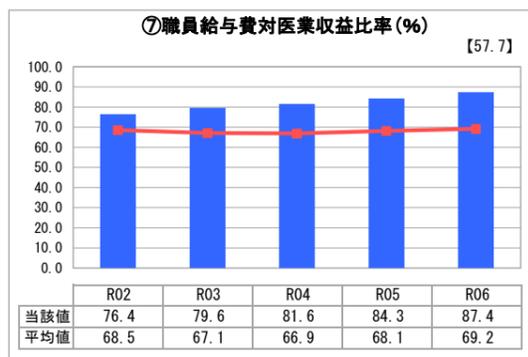
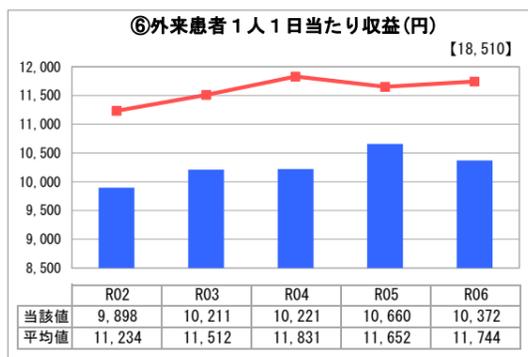
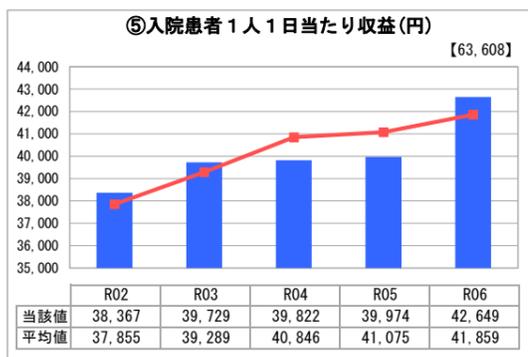
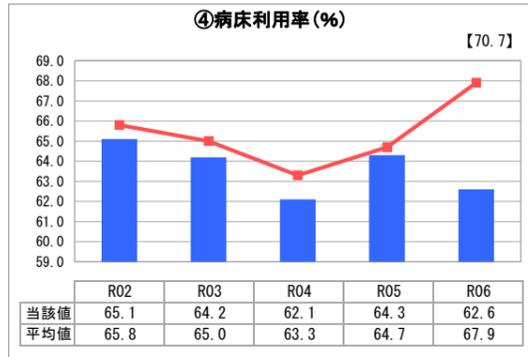
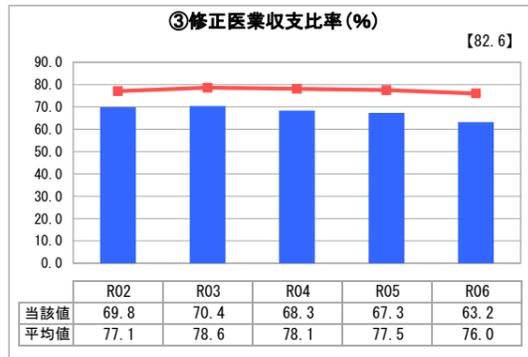
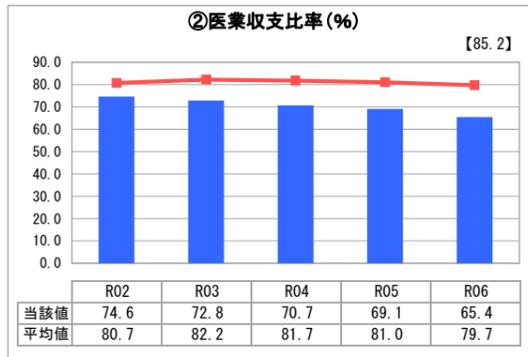
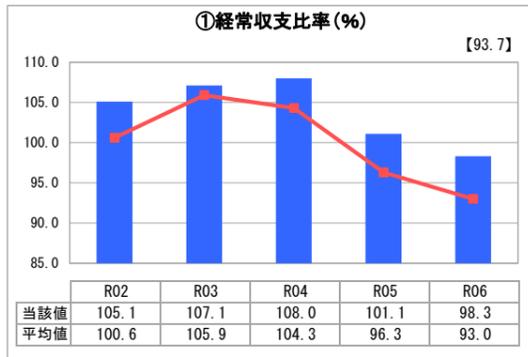
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
91	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
22	2	115
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
75	-	75

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

当院は離島隠岐圏域（島後地区）唯一の入院機能（115床）を有する公立病院であり、外来部門では15診療科を標榜し、地域中核病院として救急・災害・人工透析・小児・周産期・精神といった不採算部門も含め、急性期から在宅医療まで幅広い診療を担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

◆経営の健全性について  
医業収支の赤字は、医療外収益である負担金交付金により補填される状況が続いている。構成団体からの負担金交付金は過去最大となっており、医業収支の抜本的な改善を図らなければならない。

◆経営の効率性について  
看護師不足に伴う病床の休床や外来・入院患者数の減少、ならびに物価高騰による経費の増大等により、経常収支比率は大幅に悪化した。

#### 2. 老朽化の状況について

平成24年に新築し、病院施設及び機械備品についても病院新築に伴い一部更新を行ったため、有形固定資産及び器械備品減価償却率は全国平均及び類似病院の平均値と比較し低い状況にある。

### 全体総括

経営面については、「隠岐広域連合立隠岐病院経営強化プラン」に基づき、持続的な医療提供に向けた経営の健全化に取り組んだ。あわせて、経営改革推進会議を毎月1回開催し、収入実績の分析、診療報酬算定強化項目の算定状況、材料費等の費用削減の取組状況及び部門別行動計画の進捗状況について院内で共有し、経営改革を推進した。しかしながら、入院・外来患者数の減少や物価高騰の影響により、収支は大幅に悪化した。このため、今後は収支改善に向けた取組を一層強化する必要がある。入院患者の在院日数の適正な延長に取り組むとともに、診療体制の見直しについて検討を進め、収益の確保を図り、経営改善に取り組んでいく。

医療従事者の確保については、招聘活動、業務負担軽減対策及び離職防止対策等に積極的に取り組んだものの、依然として確保困難な状況が続いている。このため、院内に設置している「島の医療人育成センター」を中心に、専攻医、初期臨床研修医、医学生及び看護学生の研修受入れを行ったほか、看護師確保対策チームによる病院見学会の開催や、SNSを活用した広報活動を通じて、積極的な情報発信を行い、看護師確保対策を推進した。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。